

令和5年度

肢体不自由教育部門

高等部

第1学年

⑤学習グループ

年間指導計画

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第1年	
教科等名	現代の国語			グループ	⑤ 学習グループ	
ねらい	(1) これまでの学習をもとに「聞く」「話す」「読む」「書く」力を伸ばす。 (2) 様々な文章に触れ、多面的なものの見方を養う。 (3) 適切に思考・表現する力、的確に理解する力を育成し、他の学習に生かす。					
担当教員	小畑 圭輝			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	新編 現代の国語（大修館書店）					
主な指導の工夫	(1) 言葉や表現を言い換えたり、要約する機会を増やし、説明力をつける。 (2) 視覚教材も使用し、具体的なイメージができるようにする。 (3) 漢字や同義語、対義語など、基礎的な読み書きの学習を継続的に行う。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	・「変わる」ことを楽しもう ・コミュニケーションは技術だ	5	◆ 自分自身を見つめ、学びに向かう姿勢を作る。 ◇ 新たに取り組みたいこと、興味のあることをまとめる。 ◇ 筆者の主張をふまえて、コミュニケーションに対する意欲をもつ。		○	○
5	・日本語を使いこなす	10	◆ 場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。 ◆ 表記に注意して、わかりやすい文章を書く。 ◇ 正しい敬語を理解する。 ◇ 適切な表記を理解する。	○		
6	・わかりやすく説明する	5	◆ 説明の仕方に注意して、文章の構成をつかむ。 ◇ 文章の効果的な組み立て方を理解する。 ◇ 問題提起と答えを意識して、文章を読み取る。	○	○	
7	・オカピの胃袋はいくつか ・商品と贈り物の違い	5	◆ 論理的な文章の要旨を的確に読み取る。 ◇ 筆者の主張と根拠を意識して読む。 ◇ 対比、具体と抽象の関係を捉える。	○	○	
9	・水の東西	7	◆ 具体例の働きを捉え、筆者の主張を読み取る。 ◇ 比喩、例示、言い換えの意味を理解する。 ◇ 日本人と西洋人の感覚の違いを、具体例を用いて、まとめる。	○		○

10	・伝えあいのレッスン	9	<p>◆ 目的に応じて、話し方、聞き方を工夫する。</p> <p>◇ 相手や場面に配慮した言葉遣いや表現の仕方を理解する。</p> <p>◇ 対話の力やコミュニケーションを高めることに関心をもつ。</p>	○		○
11	・情報の力関係 ・世界は私にほほえんでいる	7	<p>◆ 図表などから必要な情報を読み取る。</p> <p>◇ 文字や写真、図といった情報の諸要素を確認する。</p> <p>◇ 表情がコミュニケーションにとってもつ意味を考える。</p>	○	○	
12	・どこもかしこもプラスチック	5	<p>◆ 文章とグラフの関係に注意して、文章を読み取る。</p> <p>◇ 読み取った情報を文章にまとめる。</p> <p>◇ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解する。</p>	○	○	
1	・プレゼンテーションをしよう ・相手を動かす依頼状を書こう	6	<p>◆ 構成や発表の仕方を工夫する。</p> <p>◆ 相手や目的に応じて、適切な通信手段を選択する。</p> <p>◇ 目的に応じた構成について考える。</p> <p>◇ 一般的な手紙の形式を学ぶ。</p>	○	○	
2	・何のために「働く」のか	5	<p>◆ 筆者の主張を読み取り、自分の意見をもつ。</p> <p>◇ 文章を読み、どのように生きていきたいかをまとめる。</p>			○
3	・自分の考えをつくるために	6	<p>◆ 自分の考えを広げ、深める。</p> <p>◇ 筆者の主張まとめる。</p> <p>◇ 自分の考えをまとめ、発表する。</p>		○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第1年	
教科等名	言語文化			グループ	⑤ 学習グループ	
ねらい	(1) 古文や漢文を含めた様々な作品に触れ、思考力、判断力、批判力を養う。 (2) 高校生としてふさわしい「読み」「書き」の力を身に付ける。 (3) 適切に思考、判断、表現する力を育成し、他の学習に生かす。					
担当教員	小畑 圭輝		年間授業時数	70 時間		
使用教科書	第一学習社 新編言語文化					
主な指導の工夫	(1) 学習内容に合わせ、適宜、問題プリントを作成する。 (2) 有名な作品の冒頭文は暗記させ、教養を身に付ける。 (3) 熟語、慣用句の意味調べを行わせ、適宜小テストを行う。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	・島の少年 一船 (小説)	5	◆ 登場人物の心情をそれぞれの視点に立って読み解く。 ◇ 登場人物の性格、行動を整理し、心情の変化を読み取る。		○	
5	・よろこびの歌 (小説)	7	◆ 主人公と周囲の意識のずれが何から生じているかをとらえ、心情の変化を理解する。 ◇ 一人称で書かれた小説の特徴を理解し、文中の情報の性質を把握する。	○		
6	・羅生門 (小説)	8	◆ 近代小説を味わい、読み親しむ。 ◇ 芥川龍之介の人生や、作品について理解を深める。 ◇ 作品世界に関心を持ち、時代背景や物語の結末について考える。	○		○
7	・詩	6	◆ 近現代の詩を読み、作品に込められた思いを読み取る。 ◇ 詩の表現技法や表記の効果を理解する。 ◇ 詩の内容を読み取り、主題や題名の意味を考える。	○	○	
9	・漢文、故事成語、漢詩	8	◆ 漢文に親しみ、中国文化への理解を深める。 ◆ 基本的な事柄を習得する。 ◇ プリントで訓読する練習をする。 ◇ 古代中国人の考え方を知る。	○	○	
10	・古文入門 ・児のそら寝 ・なよ竹のかぐや姫	8	◆ 古文に親しみ、日本の言語文化への理解を深める。 ◇ 説話、物語を読み、歴史的仮名遣いや古語単語を学ぶ。	○		
11	・枕草子、徒然草、方丈記	8	◆ 作者のもの見方、考え方を読み取る。 ◇ 古文の文法を学ぶ。 ◇ 古文の読解に慣れる。	○	○	
12	・和歌	4	◆ 和歌の鑑賞の仕方を理解する。 ◇ 作者のもの見方、感じ方、考え方を理解する。		○	
1	・短歌と俳句	5	◆ 近現代を代表する歌人・俳人の作品を味わう。 ◇ 詠まれている情景や心情を読み取る。			○
2	・ほねとたね (小説)	7	◆ 登場人物の人物像を把握し、主人公にもたらした心情の変化を読み取る。 ◇ 作中の描写や表現から、登場人物の人物像を捉える。 ◇ 主人公の心理的变化と成長を正確に読み取る。		○	○
3	・よだかの星 (小説)	4	◆ 人間への洞察力を高める。 ◇ 作品に含まれる寓意性を読み取る。 ◇ 作者の思想について、理解を深める。		○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第1年	
教科等名	公共			学習グループ	⑤	
ねらい	社会の一員として必要な法、政治及び経済などの社会生活に関わる基礎的・基本的な知識を深める。 複雑で変化の激しい社会の中で、主体的に判断しながら、課題を解決していく力を養う。 グローバル社会における平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育む。					
担当教員	志賀拓也			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	公共(東京書籍)					
主な指導の工夫	時事問題を取り扱い、興味・関心を引き出すとともに、実生活に根ざした指導を行う。 視聴覚機器やタブレット端末を活用し、視覚的に分かりやすく提示し、多様な価値観に触れられるようにする。 ワークシートを活用するなどして、書字にかかる時間を軽減し、主体的に対話的な深い学びを引き出す。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	開け社会の扉		最新のニュースや世界事情、単元と ◆ 関係ある歴史的な出来事などに触れ、理解を深める。 ◇ ニュースなどの時事問題について知る・調べる・発表する。			
4	○「公共」のとびら	12	公共的な空間と人間との関わりについて知り、主体的に社会に参画する態度を養う。 ◇ 自分史年表作成			
5	青年期 社会的な関係のなかで生きる人間 人間としての在り方生き方		現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察し、表現することができる。 ◇ 生命倫理・環境倫理について考察・発表する。			○
6	○民主政治と私たち	15	民意を反映した政治実現のための現状と課題について、理解を深め、主体的に関わる態度を養う。 ◇ ワークシートなどを用いて理解を深め、身近に存在する政治について気付く。			○
7	民主主義と政治参加		法や規範の意義や役割を考え、憲法に定められた国民の権利と生活との密接な関係について考察し、理解を深める。 ◇ 実生活と関係の深い法や制度について考察し、司法の仕組みや権利と責任について考察する。			○
9	法の働きと私たち					○
10	○経済社会で生きる私たち	12	公正で自由な経済活動のために国の果たすべき役割や、市場経済の仕組みについて理解を深める。 ◇ 経済の仕組みやグローバル化、身近な経済活動について考察し、理解を深める。	○		
11	現代の経済と市場 財政の役割と持続可能な社会保険制度		社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度について、実生活と関連付けながら調べる。 ◇ ワークシートや調べ学習を通して社会保障制度に対する理解を深め、将来に有益な福祉制度について知り、活用できるようにする。			○
11	○私たちの職業生活	7	働くことの意義や産業社会の発達と職業の変化について知り、キャリア形成について考察する。 ◇ 視聴覚資料や調べ学習を通して職業について興味・関心を高め、自己のキャリア形成について主体的に考察する。			○
12						○
1	○国際社会のなかで生きる私たち 国際社会のルールと仕組み仕組みと課題 グローバル化する国際経済	12	国際社会の成立とその特色、国際法の意義と役割など、グローバル化する社会について理解を深める。 ◇ 身近な国際社会とのつながりから、様々な国際課題や我が国との関係性について理解を深める。	○		
2	○持続可能な社会づくりに参画するために	12	現代社会の抱える諸課題について興味・関心をもち、持続可能な社会について探求する。 ◇ SDGsの項目から興味のある事柄について調べ、調べたことをまとめ、発表する。			○
3						○

※ 評価の観点：「知識」=知識・技能、「思考」=思考・判断・表現、「態度」=主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第1年	
教科等名	数学Ⅰ			学習グループ	⑤	
ねらい	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
担当教員	杉浦 春久			年間授業時数	105 時間	
使用教科書	新編 数学Ⅰ (数研出版)					
主な指導の工夫	(1) より身近で具体的な例題を扱うことで、主体的・対話的な学習を入れる。 (2) 各単元の本質的理解が深まるように授業内で問題演習を適宜入れる。 (3) ICT機器を活用することで、直感的、論理的な理解を促す。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	式の計算	7	<p>◆ 式を目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字に置き換えたりするなどしてすでに学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的の応じて適切に変形したりする力を培う。</p> <p>◇ 多項式の加法と減法</p> <p>◇ 多項式の乗法</p> <p>◇ 因数分解</p> <p>◇ 問題演習</p>			
5	実数	5	<p>◆ 中学までに取り扱ってきた数を実数としてまとめ、数の体系についての理解を深める。その際、実数が四則演算に関して閉じていることや、直線状の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。</p> <p>◇ 実数</p> <p>◇ 根号を含む式の計算</p> <p>◇ 問題演習</p>			

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
6	1次不等式	7	◆ 不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。			
			◇ 不等式の性質	○		
			◇ 1次不等式		○	
			◇ 絶対値を含む方程式・不等式	○		
			◇ 問題演習			○
7	集合と命題	9	◆ 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。			
			◇ 集合	○		
			◇ 命題と条件		○	
			◇ 命題とその逆・対偶・裏		○	
			◇ 命題と証明		○	
			◇ 問題演習			○
9 10 11	2次関数とグラフ	15	◆ 2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフの関係について、ICT機器を用いてグラフを描くなどして多面的に考察する。			
			◇ 関数とグラフ	○		
			◇ 2次関数のグラフ	○		
			◇ 2次関数の最大・最小		○	
			◇ 2次関数の決定		○	
			◇ 2次方程式	○		
			◇ 2次関数のグラフとx軸の位置関係	○		
			◇ 2次不等式		○	
◇ 問題演習			○			

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
12 1 2	図形の計量	20	◆ 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、三角比を活用して問題解決する力を培う。			
			◇ 三角比 ◇ 三角比の相互関係 ◇ 三角比の拡張 ◇ 正弦定理 ◇ 余弦定理 ◇ 正弦定理と余弦定理の応用 ◇ 三角形の面積 ◇ 空間図形への応用 ◇ 問題演習	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
3	データの分析	9	◆ データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力、複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力などを養う。			
			◇ データの整理 ◇ データの代表地 ◇ データの散らばりと四分位数 ◇ 分散と標準偏差 ◇ 2つの変量の間関係 ◇ 仮説検定の考え方 ◇ 問題演習	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1 年	
教科等名	数学 A			学習グループ	⑤	
ねらい	図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
担当教員	中村 保			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	新編 数学 A（数研出版）					
主な指導の工夫	（1）各単元の本質的理解が深まるように授業内で問題演習を適宜入れる。 （2）他単元とのつながりを考慮しながら、問題を多角的に捉えることで、主体的・対話的な学習を入れる。 （3）ICT機器を活用することで、直感的、論理的な理解を促す。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5 6 7 9	場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率	35	◆ 場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ◇ 集合の要素と個数 ◇ 場合の数 ◇ 順列 ◇ 組合せ ◇ 問題演習 ◇ 事象と確率 ◇ 確率の基本性質 ◇ 独立な試行と確率 ◇ 条件付確率 ◇ 期待値 ◇ 問題演習			
					○	○

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1 年	
教科等名	科学と人間生活			グループ	⑤ 学習グループ	
ねらい	(1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解する。 (2) 身近な事象・現象に関する観察・実験などを通して、科学技術の発展と人間生活との関わりについて理解を深める。 (3) 科学の基本的な概念や原理・法則を学び、科学的な見方や考え方を養う。					
担当教員	郭 雅文			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	「科学と人間生活」東京書籍					
主な指導の工夫	(1) 実験や観察を通して、日常生活と関連付ける。 (2) ICT機器を利用し、調べ学習や観察等を行う。 (3) 主体的に授業に参加できるように、発問を工夫する。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5 6	・生物と光	10	◆ 植物の光合成等のはたらきや動物の光に対する生得的な行動を理解する。 ◇ 光の刺激に対して、生物がどのように反応するかを調べる。 ◇ 目の動きや見え方について知り、その仕組みを理解する。	○		
7 8	・微生物とその利用	19	◆ 微生物の特徴を学び、病原体とは・発酵の仕組み・健康と医療等について理解する。 ◇ 身近なものの中で、使われている微生物について、調べ学習を行う。 ◇ ICT機器を利用して、微生物の観察を行い、微生物について学ぶ。 ◇ 実験を通して、微生物が生活に大きく利用されていることを学ぶ。	○		○
9 10 11	・衣料と食品	13	◆ 衣料として使われている素材の特徴や、食品の諸成分のはたらきを理解する。 ◇ 衣料で使われている物質について、調べ学習を行い、性質の違いを確かめる。 ◇ 食品中の成分やその働きを学び、スローフードについて考える。 ◇ 食品の安全性を理解する。	○	○	○
11 12	・光と熱の性質とその利用	12	◆ 光の様々な特徴を実験や調べ学習を通して理解する。 ◇ 光の特徴である、反射や屈折・回折や干渉等について実験や調べ学習をする。 ◇ 熱運動を分子レベルで考察し、熱エネルギーについての理解を深める。	○	○	
1 2 3	・身近な自然景観と自然災害	16	◆ 身近に感じている自然景観の成り立ちを理解し、災害への備えへと発展させる。 ◇ 景観を作り出す素となる、気候やプレートトに関して調べ学習を通して理解する。 ◇ 自然災害について学び、防災について考える。			○

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1・2・3	年		
教科等名	体育（実技）	グループ	⑤ 学習グループ			
ねらい	(1) 各種の体育活動を通して、スポーツの楽しさを感じ、生涯にわたってスポーツに親しむ習慣の基盤を作る。 (2) 運動を通して、身体の調整機能を高め、健康の保持増進を図る。 (3) ルールを理解し、周囲の状況、自身の状況等に応じて自分なりに判断した動きをする。					
担当教員	鎌形翼 上原千穂	年間授業時数	70 時間			
使用教科書	「新高等保健体育」大修館					
主な指導の工夫	(1) オリンピック・パラリンピック等に関連付けながら日常的にスポーツの話をし、スポーツや身体活動への意欲や関心を高めていく。 (2) 目的に向けた主体的な過程を褒めることで、身体活動の楽しさを実感させ、生涯スポーツへの意識を高める。 (3) 個々の障がい状況が異なるため、実態に応じた課題やルールを設定する。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	体づくり運動	4	◆ 身体の柔軟性について理解し、自分の身体の使い方を知る。 ◇ ラジオ体操や選択した曲で競技に合った体操の創作。 ◇ 3軸体操や柔軟ストレッチ運動。	○		○
5 6	陸上競技 体育祭種目練習	14	◆ 自己記録に挑戦したり、仲間と協力して競技に参加したりすることができる。 ◇ 自己記録に挑戦する。 ◇ ルールを理解し、作戦を考える。 ◇ 周囲と協力して競技を行う。	○	○	○
7	水泳	9	◆ 重力下では難しい、自発的な動きを引き出す。 ◇ 水慣れ ◇ 泳法指導 ◇ リラクゼーション	○ ○		○
9 10	球技 「ポッチャ」	12	◆ 自分が狙った場所にボールを打つことができる。 ◇ 投球の種類と練習方法について ◇ 作戦を立てる。 ◇ 投球練習、レクリエーション、両ルールを体験する。	○	○	○
11 12	球技 「ハンドサッカー」	10	◆ ルールを理解し、周囲と協同してプレーする。 ◇ フィールドプレイヤー・スペシャルシューターとしての動きに特化する	○		
1	武道 「柔道」	6	◆ 伝統文化として武道の基本を理解する。 ◇ 柔道の心構えや特性について ◇ 寝技体験 ◇ 道着の着衣、つかみ、投げ	○	○ ○	○ ○
2 3	球技 「卓球」 「テニス」	15	◆ ボールの動きに合わせた体幹や上肢の使い方を工夫する。 ◇ 打撃練習 ◇ ゴロ卓球、ゴロテニス ◇ 審判体験	○ ○		○ ○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第1年	
教科等名	保健			グループ	⑤ 学習グループ	
ねらい	(1) 生活全般における、健康、安全に対する理解を広げ、深める。 (2) 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善する意識を高め、自立した大人になる一歩とする。 (3) スポーツのルールや仕組みを理解し、興味・関心を高め、生涯スポーツに親しむ習慣を育てる					
担当教員	上原 千穂			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	「新高等保健体育」大修館書店					
主な指導の工夫	(1) 表やグラフ、画像や動画を活用しながら視覚的に理解しやすくする。 (2) 実生活に照らして、生徒が考え、自らの言葉で発言できる場面を数多く設定する。 (3) 日常生活での実体験に即したことと関連付けながら説明する。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5 6 7 9 10 11 12	【保健分野】 ・現代社会と健康 ・安全な社会生活	28	◆ 望ましい生活習慣を知り、自身の生活習慣を改善する。 ◆ 生活習慣による、自身の健康、周囲への影響について知る。 ◆ 心身の健康と相関について理解し、その対処法を知ることによって気持ちを安定させ、落ち着いて生活する。 ◆ 性についての理解を深め、周囲に流されず自分らしく生活していくための意識を高める。 ◆ 身の回りの環境について理解を深め、より良い環境で生活する意識を高める。 ◇ 日本における健康課題の変遷 ◇ 健康の考え方と成り立ち ◇ ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり ◇ 健康に関する意思決定・行動選択 ◇ 現代における感染症の問題 ◇ 感染症の予防 ◇ 性感染症・エイズとその予防 ◇ 生活習慣病の予防と回復 ◇ 身体活動・運動と健康 ◇ 食事と健康 ◇ 休養・睡眠と健康 ◇ がんの予防と回復 ◇ 喫煙と健康 ◇ 飲酒と健康 ◇ 薬物乱用 ◇ 自己の現状と発生要因 ◇ 事故防止の取り組み			
1 2 3	【体育分野】 ・スポーツの発祥と発展 ・運動・スポーツの学び方	7	◆ スポーツの意義や歴史、文化的特徴、現代スポーツを取り巻く様々な問題について考える。 ◆ 生涯にわたってスポーツと豊かに関わるためのスポーツライフの設計の仕方について学ぶ。 ◇ スポーツの発祥と成立 ◇ スポーツ文化の発展と現代社会 ◇ オリンピック・パラリンピックと国際社会 ◇ スポーツの経済効果とスポーツ産業 ◇ スポーツに求められる高潔さ ◇ 持続可能性からみたスポーツと環境 ◇ スポーツにおける技術と戦術・戦略			

※ 評価の観点：「知識」=知識・技能、「思考」=思考・判断・表現、「態度」=主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第 1 年	
教科等名	音楽 I			グループ	⑤ 学習グループ	
ねらい	(1) 音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。 (2) 感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。 (3) 音楽文化についての興味、関心、理解を深め、卒業後の余暇活動へとつなげる。					
担当教員	池上舞		年間授業時数	35 時間		
使用教科書	「Tutti+」教育出版					
主な指導の工夫	(1) 曲のイメージをもちやすいよう、写真や映像で視覚的にもわかりやすい教材を取り入れる。 (2) 個人練習の時間を設けて主体的に活動できるよう促す。 (3) 幅広いジャンルの音楽の鑑賞、楽器の演奏体験を通じて興味・関心を広げる。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	【器楽】 様々な楽器による合奏、指揮を体験する。 【鑑賞】 日本歌曲に親しもう。	7	◆ 日本歌曲に親しみながら、曲の情景や雰囲気を感ずる。 ◆ 合奏を通じて、テンポ、強弱の設定などについての理解を深める。 ◇ 歌詞の意味を理解し、曲の表現について考える。 ◇ 強弱記号や速度記号など楽典について理解し、実際に強弱等に気をつけながら演奏する。			
6	【器楽・鑑賞】 ヨーロッパの古典音楽の歴史、時代による様式などの違いを知ろう	6	◆ クラシック音楽を鑑賞し、歴史及び時代ごとの様式の特徴を知る。 ◇ 主な作曲家と楽曲についてその特徴などを知る。 ◇ 自分の好みの音楽や興味をもった楽器を見つける。			
6	【器楽・鑑賞】 日本の伝統芸能・伝統楽器についての理解を深める。	6	◆ 日本の伝統的な楽器や芸能について基本的な知識を身に付ける。 ◇ 日本の伝統芸能の歴史や主な芸能の種類を知る。 ◇ 映像および実際の楽器による演奏を鑑賞し、関心をもつ。 ◇ 伝統的な楽器に直接触れて演奏する体験を行う。			
7	【器楽・鑑賞】 様々なジャンル、民族の音楽に親しみ、気に入った楽器を使って演奏しよう。	7	◆ 周囲とリズムやタイミングを合わせて演奏する。 ◇ 自分のやってみたい楽器を選ぶ。 ◇ 譜面を見ながら、楽器ごとに個人練習をする。 ◇ タイミングやリズムを意識しながら周囲と合わせる。			
9	【鑑賞・器楽】 芸術鑑賞会に向けて	6	◆ 芸術鑑賞会に向けて、演奏楽器や演奏曲について事前学習する。 ◇ 演奏楽器を鑑賞、体験する。 ◇ 演奏曲を鑑賞、体験する。 ◇ 歴史や文化について知る。			

※ 評価の観点：「知識」=知識・技能、「思考」=思考・判断・表現、「態度」=主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1 年	
教科等名	美術			グループ	⑤ 学習グループ	
ねらい	(1) 造形的な視点で対象や事象を捉え、造形的に考え表現する力を育む。 (2) 美的感覚を働かせ、対象や事象から様々なことを感じ取る力や創造性を育む。 (3) 生活や社会の中の美術や美術文化と関わり、豊かな生活を創造する力を育む。					
担当教員	八田早苗			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	美術 I（光村図書）					
主な指導の工夫	(1) 参考作品等の鑑賞を行い、作品の良さや特徴に気付けるようにする。 (2) 制作時間を確保し、試行錯誤したり発想を広げたりできるようにする。 (3) 教材教具は生徒の動きや巧緻性に配慮したものを用意する。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
9 10	絵画：砂絵 陶芸：音の鳴るオブジェ	10	◆ 隣接する色との調和や全体の色調を意識しながら構図を考え出す力をつける。 ◇ 色砂を用いた描画。 ◆ 基本の土鈴にオリジナルのデザインを加えた作品を作り出す。 ◇ たたらや紐づくり等の陶芸の技法を学び、作品作りに活かして制作する		○	
11 12	絵画：生き物を描く（バチック等の技法を用いた描画）	10	◆ 選択した生物を表現する方法を模索し、効果的な技法を選んで描画する ◇ 本やネットなどから描きたい生き物を選択する。 ◇ 水彩や油絵具、アクリル絵、クレヨン等を用いてバチックの技法を用いて生き物を表現する。		○	○
1 2 3	墨象：墨絵を描く デジタルアート：写真をコラージュする	15	◆ 季節の行事を感じながら制作する。 ◇ 墨の香り、和紙や色紙の色彩、紙粘土の形に注目して制作する。 ◆ アプリ操作を学習し、iPadでオリジナルのデザインを生み出す。 ◇ iPadを使って、写真の素材をコラージュして、Tシャツやエコバッグのデザインをする。		○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1 年	
教科等名	英語コミュニケーション I			グループ	⑤ 学習グループ	
ねらい	(1) 日常的・社会的な話題について、英語で理解したり話したりすることができる。 (2) 基本的な英文法や言い回しを習得することができる。 (3) 海外に紹介すべき日本の文化や伝統を知ると共に、異文化も理解する。					
担当教員	高橋 奈穂美			年間授業時数	105 時間	
使用教科書	「All Aboard! English Communication I」 (東京書籍)					
主な指導の工夫	(1) 「読む」「聴く」「書く」「話す」4技能すべてをカバーする。 (2) 視覚的資料を活用し、生徒が興味・関心をもてるようにする。 (3) 演習などで基本的な内容を繰り返し確認し、定着できるようにする。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	Warm-Up 1, 2, 3 Pre-Lesson 1, 2	8	◆ 色々な動詞や疑問詞を理解・使用する。 ◇ 教室英語、自己紹介			○
5	Lesson 1, 2	10	◆ 過去形・進行形を理解・使用する。 ◇ 世界の朝食・オーストラリアの珍しい動物について話す。			○
6	Lesson 3	11	◆ 助動詞の用法を学ぶ。／道案内や人を誘うときの表現 ◇ 職業の意義について／道案内		○	
7	Lesson 4	10	◆ to 不定詞を理解・使用する。 ◇ ポリビアの絶景について知る。	○		
9	Lesson 5	11	◆ 動名詞を理解・使用する。 ◇ 将来の夢について話す。		○	
10	Lesson 6	11	◆ 受動態の文を理解・使用する。 ◇ 浮世絵・現代の漫画について考える		○	
11	Lesson 7	10	◆ 比較表現を理解・使用する ◇ アンネ・フランクの生涯を知る。	○		
12	Lesson 8	12	◆ 現在完了形の用法を理解・使用する。 ◇ 科学技術と生活について考える。	○		
2	Lesson 9	11	◆ 後置修飾の分詞を理解・使用する。 ◇ 海の豊かさについて考える。		○	
3	Lesson 10	6	◆ 関係代名詞を理解する。 ◇ 戦中・戦後の歴史について学ぶ。	○		
年間	ALTとの英会話	5	◆ ALTとの会話を通じて、英語運用能力の向上と異文化理解を深める。			
			◇ 外国の文化、習慣について知る。			○
			◇ 日本、東京について話をする。			○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1 年			
教科等名	情報Ⅰ			学習グループ	⑤			
ねらい	・自分と社会のつながりを考え、主体的に意思決定を行う力を育てる。 ・生活の充実向上を図る知識・能力と実践的な態度を育てる。 ・健康で安全な充実した生活を送るための食生活・衣生活・住生活について考える。							
担当教員	高澤 昇太郎			年間授業時数	70 時間			
使用教科書	新編情報Ⅰ 東京書籍							
主な指導の工夫	（1）現在や卒業後の生活を考え、自立に活用できる情報や技術を取り上げる。 （2）タブレット端末や動画教材を活用し、視覚的、体験的学習を取り入れる。 （3）補助具等を使用し、可能な限り生徒自身で実践できる場を増やす。							
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点				
				知識	思考	態度		
4	情報で問題を解決する 情報を伝える コンピュータを活用する データを活用する	20	◆ 情報の特性を理解し、問題解決を行えるようになる。					
5			◇ 問題の発見・解決に情報技術が活用できることを理解する。	○	○	○		
6			◆ メディアとコミュニケーションの特性について学習する。					
7			◇ 伝達方法のメリットとデメリットについて理解する。	○	○	○		
9			30	◆ コンピュータの動作原理について理解する。				
10				◇ プログラムを活用する。	○	○	○	
11		◆ データベースの役割を理解する。						
12		◇ 分析の目的に合わせたデータの活用を学習する。		○	○	○		
1		データを活用する 活動して提案する		20	◆ データベースの役割を理解する。			
2					◇ 分析の目的に合わせたデータの活用を学習する。	○	○	○
3								

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1 年	
教科等名	産業社会と人間			グループ	⑤ 学習グループ	
ねらい	(1) 共生社会を構築する人材としての、社会生活や職業生活に必要な基本的能力や態度及び望ましい勤労観、職業観を育成する。 (2) 我が国の産業の発展とそれがもたらした社会の変化について考察する。 (3) 将来の生き方や進路について考え、その実現に向けた計画を作成する。					
担当教員	高橋 奈穂美			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 新聞やインターネット等を活用し、時事的な話題を効果的に取り上げる。 (2) 具体的な例の提示や対話を通し、分かりやすい内容にする。 (3) 読んだり調べたりした内容を基に、自分の考えをまとめる機会をもつ。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	社会生活の基礎	5	◆ 社会と自己の関り方について考え、円滑な人間関係を築くことができる。 ◇ 社会生活におけるルールとマナー コミュニケーションスキル			○
6	社会の中の仕事や活動	4	◆ 社会と自己の関りについて考え、様々な生き方・働き方を知る。 ◇ 様々な仕事や活動を新聞やインターネット情報で読み、自分にできることや、やりたい活動について考える。		○	
7	自律と自立	3	◆ 自らの社会的自立や共生社会の実現について考える。 ◇ 社会生活を送る上での必要な知識や技能を学ぶとともに、障害者を取り巻く現状と課題について考える。		○	
9	消費者教育	4	◆ 消費生活に関する知識を習得し、適切な行動に結びつけることができる実践的な能力を育む。 ◇ 新聞記事やインターネット情報をもとに、消費者を取り巻く諸課題について考える。	○		
10 11	「大きな進路」と「小さな進路」	7	◆ 自分の将来像や生きる意義などを考える。 ◇ 自らの将来設計を考える中で、自己実現「大きな進路」とその手段「小さな進路」について考える。		○	
12	働くこと、生活すること	3	◆ 生活の基盤となる「働く」ことの意義を考える。 ◇ 家族や先輩など身近な人の働き方や生き方を知り、自分の社会参加について考える。	○		
1	社会人として	3	◆ 働くために必要なスキルについて考える。 ◇ 働くために大切な健康管理や生活について具体的に考える。	○		
2	主権者教育	4	◆ 主権者とは何か、選挙とは何かを考える。 ◇ 選挙権獲得と選挙権行使について考える。	○		
3	進路について考える	2	◆ 卒業後のイメージをもつ ◇ 自分の長所を活かしたり、興味のもてる仕事について考える。		○	

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第1年	
教科等名	伝統文化			グループ	⑤ 学習グループ	
ねらい	(1) 伝統芸能の歴史、多様性を知り、貴重な文化であることを知る。 (2) 日本古来の芸術についての理解を深め、豊かな生活を創造する力を育む。 (3) 自然を尊重することの大切さや先人の知恵を知り、日本古来の文化の魅力に気付く。					
担当教員	八田早苗、池上舞、石渡ひかり			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 楽器などの体験的学習を取り入れ、理解を深める。 (2) 身近にある伝統的なデザインの鑑賞を行い、興味・関心を高める。 (3) 実習や実験、製作などの体験的学習を取り入れ、理解を深める。					
月	単元(題材)名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	伝統的な色について	7	◆ 伝統的な色について理解を深める。 ◇ 伝統的な色の鑑賞。染め物体験。	○		
5	伝統的な文様と歴史	7	◆ 文様の歴史について知り、身近にある伝統的なデザインに気付く。			
6			◇ 文様の鑑賞。調べ学習。		○	
7	伝統的な絵画技法と紋のデザイン まとめの学習	14	◆ 伝統的な紋の特徴について理解し、調べ学習する。 ◇ 紋のデザインをiPadで描く。			○
9	伝統文化について	16	◆ 伝統文化について理解する。 ◇ 地域の祭りを調べる。			○
10	古代・中世の芸能について		◆ 雅楽・平曲・能狂言について理解する。	○		
11	近世の芸能について		◆ 江戸時代の芸能について理解する。 ◇ 伝統芸能、演奏の体験をする。	○	○	
12	民族の芸能と民俗芸能 まとめの学習		◆ 現代の伝統芸能の在り方を考える。 ◇ 日常生活との関連を考え意見する。		○	
1	日本の食文化について	3	◆ 和食の特徴を理解する。 ◇ 和食・日本料理・日本食の違いを学ぶ。		○	
2	日本の食文化の8つの柱	20	◆ 日本の食文化における、8つの柱の特徴や			

3	まとめの学習	3	<p>米、水、木、魚、神饌、包丁、発酵、うま味、それぞれの歴史や魅力についてワークシートを用いた学習や体験的学習を交えながら理解する。</p> <p>◆ 日本食の魅力を自分の言葉で話すことができる。</p> <p>ワークシートに書いてある各時代の数を数えて、日本食文化が出来るまでの流れについて考える。</p>	○		○
---	--------	---	---	---	--	---

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画						
部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第1年	
教科等名	総合的な探究の時間			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) 学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行う。 (2) 地域の中でのSDGsを学習することで、社会とつながりを感じる。 (3) 様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばす。					
担当教員	石渡ひかり 高橋奈穂美 小畑圭輝 張替良太 八田早苗 杉浦春久 鎌形翼			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 日常生活の中の身近な場面での題材や課題を設定し、学習する。 (2) 実態に合わせた補助具や教材を用いることで、活動の中で成功体験を多く積めるよう (3) グループ教室以外での活動や、班行動での活動を行う。					
月	単元(題材)名	指導	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考・	態度
4	高等部を知ろう	3	◆ 高校部の生活を知り、学年目標や係活動を決める ◇ 高等部の1年間の活動に見通しをもって考え、学年目標や係を決定する	○		
5 6	学期の行事の確認	8	◆ 学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ ◇ 写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。		○	
7	宿泊行事に向けて	3	◆ 移動教室に行く場所を知り、地域について考え、できる活動を行う。 ◇ 場所の写真やスライドを見て、行く場所(地域)について考える。		○	
9 10	宿泊行事事前学習	8	◆ 移動教室で行く場所のSDGsを学習することで、社会とのつながりを感じる。 ◇ 班ごとにテーマを決めて活動をする		○	
11	墨東祭事前学習	2	◆ 先生や友達と協力して活動する。 ◇ 移動教室の事前学習で行ったことを活かして墨東祭準備を行う。	○		
12	移動教室・墨東祭事後学習	2	◆ 移動教室・墨東祭の学習を振り返る ◇ 調べ、発表したそれぞれのテーマを振り返る。		○	
1	進路学習	3	◆ 日本固有の文化を体験し、活動に興味・関心を向ける ◇ 墨の香りを感じながら、書初めを行う。		○	
2	主権者教育	3	◆ 選挙を通して社会を知る			

			◇ 模擬選挙などを行い、仕組みを学ぶ。	○		
3	進路について	3	◆ 卒業後の進路について考える。			
			◇ ICT機器などを使って進路について調べる。		○	

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画						
部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第1年	
教科等名	総合的な探究の時間			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) 学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行う。 (2) 地域の中でのSDGsを学習することで、社会とつながりを感じる。 (3) 様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばす。					
担当教員	石渡ひかり 高橋奈穂美 小畑圭輝 張替良太 八田早苗 杉浦春久 鎌形翼			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 日常生活の中の身近な場面での題材や課題を設定し、学習する。 (2) 実態に合わせた補助具や教材を用いることで、活動の中で成功体験を多く積めるよう (3) グループ教室以外での活動や、班行動での活動を行う。					
月	単元(題材)名	指導	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考・	態度
4	高等部を知ろう	3	◆ 高校部の生活を知り、学年目標や係活動を決める ◇ 高等部の1年間の活動に見通しをもって考え、学年目標や係を決定する	○		
5 6	学期の行事の確認	8	◆ 学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ ◇ 写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。		○	
7	宿泊行事に向けて	3	◆ 移動教室に行く場所を知り、地域について考え、できる活動を行う。 ◇ 場所の写真やスライドを見て、行く場所(地域)について考える。		○	
9 10	宿泊行事事前学習	8	◆ 移動教室で行く場所のSDGsを学習することで、社会とのつながりを感じる。 ◇ 班ごとにテーマを決めて活動をする		○	
11	墨東祭事前学習	2	◆ 先生や友達と協力して活動する。 ◇ 移動教室の事前学習で行ったことを活かして墨東祭準備を行う。	○		
12	移動教室・墨東祭事後学習	2	◆ 移動教室・墨東祭の学習を振り返る ◇ 調べ、発表したそれぞれのテーマを振り返る。		○	
1	進路学習	3	◆ 日本固有の文化を体験し、活動に興味・関心を向ける ◇ 墨の香りを感じながら、書初めを行う。		○	
2	主権者教育	3	◆ 選挙を通して社会を知る			

			◇ 模擬選挙などを行い、仕組みを学ぶ。	○		
3	進路について	3	◆ 卒業後の進路について考える。			
			◇ ICT機器などを使って進路について調べる。		○	

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1 年	
教科等名	特別活動（ホームルーム）			グループ	⑤ 学習グループ	
ねらい	(1) 行事や一年間の流れに見通しをもち活動する。 (2) 学年の友達との様々な経験を通して学年集団の親睦と団結を図る。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活に活かす。					
担当教員	石渡ひかり 鎌形翼 高橋奈穂美 小畑圭輝 張替良太 八田早苗 杉浦春久			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 写真や資料等視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 (2) 全員が意欲的に参加できるように、道具や活動のルールを工夫する (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	高等部の生活について	3	◆ 高等部の一年間の生活を知る。 ◇ 自己紹介、一年間の予定確認、学年目標決め、係活動決めなど。		○	
5	学年の仲間との親睦を図る 新入生歓迎会に向けて	2	◆ 体育祭に向けて期待を高める。 ◇ 体育祭の競技や応援練習			○
		1	◆ 歓迎会の実施に向けて、リーダーシップをとる。 役割分担して準備する。必要なことを教員に依頼する。 ◇			○
6	体育祭に向けて	4	◆ 体育祭に向けて期待を高める。 ◇ 体育祭の競技や応援練習		○	
7 9 10	移動教室事前学習	10	◆ 行事への期待感を高め、協力して一つのものを作り上げる。 ◇ 係ごとに事前学習を行う。 ◇ 内容に関する話し合い、準備、練習など			○
11	墨東祭に向けて	3	◆ 役割をもって、仲間と協力する。 ◇ 発表内容について話し合い・分担 ◇ 全体練習		○	○
12	レクリエーション	3	◆ 期待感を高めて主体的に準備を進める。 ◇ 事前・事後学習 しおり作り、係分担など		○	
1	伝統文化に触れよう	3	◆ 日本独自の伝統技術を体験する ◇ 調べ学習	○		
2	主権者教育	3	◆ 生徒会選挙を通して選挙を知る ◇ 模擬選挙を行う		○	
3	1年間のまとめ	3	◆ 一年間の学校生活を振り返る ◇ スライドなどを見て一年間を振り返る。			○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1 年	
教科等名	特設自立活動			グループ	⑤ 学習グループ	
ねらい	(1) 身体全体や関節の変形・拘縮を予防する。 (2) 卒業後の生活を考えて、自分でできる取り組みを増やす。					
担当教員	高橋 奈穂美		年間授業時数	70 時間		
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 外部専門員と連携して指導を行う。 (2) セルフストレッチなど、生徒が一人でもできるような活動を取り入れる。					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通 年	自立活動	70	◆ 個々の課題に応じて、活動すること ◇ 身体のストレッチ ◇ 座位、立位、膝立ち等の取り組み ◇ 歩行訓練、階段昇降、トランポリン ◇ 手指の操作性を高める活動 ◇ ボールやトランポリンを使った活動			

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度